

咽頭結膜炎（プール熱）

Q1.どんな病気？

初夏～秋口にかけて多い、夏風邪の一種です。

原因はアデノウイルスというウイルスです。潜伏期間は5～7日で、このウイルスに感染しているこどもの目ヤニ、のどの分泌物、便などが感染源です。

プールの水が汚染されて集団発生するため、俗にプール熱と呼ばれています。プールに入らない赤ちゃんにはあまり見られませんが、幼稚園児や学童に多く、アデノウイルスは感染力が強い為、上の子が感染すると赤ちゃんが感染することもあります。

Q2.主な症状は？

のど(咽頭)と、目(結膜)に出ます。

のどが腫れて痛みだすと同時に結膜炎をおこし、白目やまぶたの裏側が赤くなり、目ヤニが出る、目がショボショボする、まぶしがるといった症状と前後して急に39度前後の高熱が出ます。

のどの痛み、目の充血、高熱の3つの症状が出るので診断のつきやすい病気です。しかし、赤ちゃんの場合には下痢や嘔吐などの症状が目立って、結膜炎がでないこともあります。

Q3.治療、手当ては？

アデノウイルスに直接効く薬は無いので、治療は対症療法です。目ヤニがひどい時は濡れたガーゼなどでこまめに拭き取りましょう。細菌の二次感染防止のために、抗生物質入りの点眼薬を使うこともあります。

熱は3～4日続きます。その間の手当ては風邪の時と同じで、一週間ほどで軽快しますが、のどの痛みが強いため水分補給が困難になるので脱水症状に注意しましょう。

アデノウイルスは同じタオルや食器を使うと感染するので、家族とは別のものを使い洗濯も別にしましょう。